

○新見公立大学大学院修士論文審査基準

平成29年4月1日

基準第13号

(趣旨)

第1条 新見公立大学大学院健康科学研究科における修士の学位論文の審査基準は、この基準の定めるところによる。

(審査・評価)

第2条 修士の学位論文は以下の観点から審査・評価する。

1 修士論文

1 審査・評価項目	
(1) 表題	・ 論文内容を反映した表題である
(2) 目的・背景	・ 文献検討が十分されている ・ 研究目的が明確である ・ 新規性・独創性がある
(3) 研究方法	・ 対象の選定が適切である ・ データ収集方法が適切である ・ 分析方法が適切である ・ 倫理的配慮がなされている
(4) 結果	・ 目的に沿った分析結果を記述している ・ 図表の表し方が適切である ・ 結果の信頼性や再現性・適用範囲が明確である
(5) 考察	・ 結果に基づいた考察である ・ 目的に沿った考察である ・ 先行研究との比較、文献引用が適切である
(6) 各専攻の視点	看護学専攻 ・ 看護活動の向上、改善に役立つものである 地域福祉学専攻 ・ 地域福祉学の向上、改善に役立つものである
(7) 完成度	・ 論文に一貫性がある ・ 誤字・脱字がない ・ 文章表現が適切である

(8) プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさ・説得力がある ・質問に対する回答が明確である
2 審査・評価基準	
上記項目についての判断をもとに、論文として適しているか否かを総合的に判定する。	

2 特定の課題についての研究

1 審査・評価項目	
(1) 表題	<ul style="list-style-type: none"> ・論文内容を反映した表題である
(2) 目的・背景	<ul style="list-style-type: none"> ・文献検討が十分されている ・研究目的が明確である
(3) 研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の選定が適切である ・データ収集方法が適切である ・分析方法が適切である ・倫理的配慮がなされている
(4) 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿った分析結果を記述している ・図表の表し方が適切である ・結果の信頼性や再現性・適用範囲が明確である
(5) 考察	<ul style="list-style-type: none"> ・結果に基づいた考察である ・目的に沿った考察である ・先行研究との比較、文献引用が適切である
(6) 地域福祉の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉向上、改善に役立つものである
(7) 完成度	<ul style="list-style-type: none"> ・論文に一貫性がある ・誤字・脱字がない ・文章表現が適切である
(8) プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさ・説得力がある ・質問に対する回答が明確である
2 審査・評価基準	
上記項目についての判断をもとに、論文として適しているか否かを総合的に判定する。	

附 則

この基準は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和5年4月1日基準第13号）

この基準は、令和5年4月1日から施行する。